



燕市立燕東小学校 学校だより

令和7年5月19日

No. 2

↓学校ホームページ

あすなる



地域を知り 地域とつながり 未来を創る人に

校長 鈴木 華奈子

木の部屋から「わーっ!」「やったー!」「あーっ!」
歓声が聞こえます。

3年生が町探検前のクイズ大会をしています。

地域の「はかせ」の方々からお越しいただき、地域のもの・
こと・人に関するクイズを出してもらっています。

「ほんとにあそこの看板は、そうなのかな?」「他はどう
なのかな?」「見てみたい!」「行って確かめてみたい!」

子どもたちの地域探検へのわくわくドキドキが高まっていました。

教室・学校から出て、多様で豊かな地域の人・もの・ことに直接触れる校外学習には、発見・驚
き・感動の学びがたくさんあります。五感を使った体験的な学びや仲間と力を合わせる協働的な学
び、あれ?すごい!を発見しその“?”や“!”を探究し人に発信する学びは、子どもたちの中にしっか
りに残り、将来にわたって生きる力 となるといわれています。

東っ子が、ふるさと燕を 知り・つながり・自分らしく生きる幸せな未来を創る力を伸ばせるよう、
今年も地域・保護者の皆様からお力添えいただきますようお願いいたします。



学力の向上について

学力向上部主任

表現力の育成

「書く」活動と「話す」活動に特に力を入れ、子どもたちの豊かな表現力を育むために「OUTPUT 重視の学習」を進めます。「書く」活動では、学習したことを自分の言葉で表現する力を養うことを重視します。「学びの⑦⑧⑨」という、学習内容を振り返るための視点を取り入れたり、新しく学んだ言葉を使って自分の考えを文章に表したりするなど、「思考を深めるノート作り」を通して、子どもたちが学んだことをしっかりと自分の力にする学習を進めます。「話す」活動では、自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の話をしっかり聞いたりする双方向で会話する力を育みます。授業での話し合いの様子を紹介する掲示物や、よい話し方・聞き方の例（東っ子の学び方等）を示したりすることで、子どもたちがお互いを尊重しながら話し合い、学びを深められるよう、全体のレベルアップを図ります。

基礎基本の定着

ドリル学習などの「反復学習」や、「書き写す」といった学びの基礎や自信につながる「INPUT 重視の学習」を、昨年度に引き続き、今年度も大切に進めていきます。また、朝の学習時間（「長善タイム」）には、市内小中学校で取り組まれている「コグトレ（認知機能トレーニング）」に、本校でも引き続き取り組みます。クイズ形式で楽しく取り組めるコグトレは、「見る力」「聞く力」「想像する力」といった認知機能を高める効果があります。コグトレを通して、子どもたちが学習内容をより深く理解できるようサポートしていきます。

豊かな心の育成について

豊かな心育成部主任

自己肯定感を高める

今年度の燕東小の児童は194人。子どもたち一人一人みんなによいところがあります。しかし、様子や言動を見ていると、「自分にはいいところなんて…」と思いながら生活している子もいます。自分のよいところが分かる子どもは、ポジティブに行動したり、物事に粘り強く挑戦したりすることができます。自分のことも相手のことも大切にできる傾向が高いです。そこで、今年度も行事を通して仲間と何かを成し遂げる喜びを味わったり、友達のよいところや頑張りを伝え合ったりできるような、“自己肯定感を高める活動”を取り入れていきます。また、日々の授業や学校生活の中でも、「できた」という思いを積み重ね、「自分にはこんなよいところがある」という思いを感じることで、自分は大切な存在だと感じられるようにしていきます。ご家庭や地域でも、それぞれの関わりの中で、子どもたちのよさを認めていただけるとありがたいです。

他者を理解しお互いを認め合う

他者を理解し認め合うことで、上記のような自己肯定感も高まります。そのため、クラスでは仲間のよいところを見付け、伝え合う活動を取り入れます。異学年交流では、今年度も「なかよしあすなろ班」を結成し、1・6年生、2・5年生、3・4年生の「仲良しペア」が集まり、一つの班となって活動を行います。清掃活動や遊ぼうデー、各行事などで異学年交流を活性化していきます。活動後にはペアや班の仲間のよいところを「あすなろの実」と称するカードに書いて渡します。そこに書かれた言葉を読んで自分自身のよさを確かめたり、仲間への感謝の気持ちを新たにしたりします。また、燕東小の自慢の一つである「心と心をつなぐあいさつ」も継続していきます。全校で、お互いを認め合う温かい仲間づくりを目指していきます。

体力の向上について

体力向上部主任

運動意欲の向上

燕東小では、体育の授業を通して、「①自分のめあてを達成するために、進んで運動に取り組む子ども」「②自分の動きをよりよくするために自ら考え、工夫して運動に取り組む子ども」を目指しています。今年度も、「ICTを活用して自分の動きを確認し、よさや課題を見つける」「仲間と互いの動きを見合い、気づいたことを伝え合う」「練習方法の工夫やよりよい動きについて話し合う」活動を通して、子どもたちがめあての達成に向けて「考えて運動する」体育授業を行い、思考力や意欲の高まりから、運動技能の向上につなげていきます。

生活習慣指導（基本的生活習慣・メディアコントロール）

燕東小では、子どもたちの心と体の健やかな成長のために、睡眠とメディアコントロールを中心とした生活習慣指導に取り組んでいます。早寝・早起きの他に、お家の方とメディアコントロールについて話し合い、テレビやゲーム、インターネットなどのメディア使用について「お家のルール」作りを行い、げんきアップ週間に取り入れています。今年度は、「少しでもよりよい生活にしよう」と粘り強く取り組めるように働きかけていきます。また、前回の「げんきアップカード」を振り返りながら、「起床・就寝の目標時刻」や「お家のルール」を見直し、少しでもよりよい睡眠、生活習慣が身につくようにしていきます。ぜひ、ご家庭でメディアコントロールや睡眠の大切さについて話し合ってください。今後とも、子どもたちへの温かい励ましとご協力をお願いします。